

夕日寺健民自然園 中期経営目標
(実施期間 平成30年度～平成34年度)

平成30年3月 策定

1 施設の設置目的

身近な自然環境を保全するとともに、そこに生きる動植物とのふれあいの機会を提供し、県民の健康で潤いのある生活の確保に資することを目的として、設置しています。

2 施設の果たすべき役割

様々な活動団体と連携・協働し、多彩な里山体験プログラムを提供することで、多くの方々の利用を促進し、里山の自然を守り育てていくことの大切さを伝えていくことを役割としています。

3 事業内容

(1) 里山保全・普及啓発活動の実施

年間を通して、職員による四季折々の里山を利用した「ガイドウォーク」を開催しているほか、いしかわ自然学校の各種プログラムの実施場所として提供しています。

(2) 里山保全・再生活動及び交流の場の提供

里山保全活動団体等に、里山保全活動、交流の拠点、会議等の場、里山の素材を使ったクラフト及び料理教室などの各種プログラムを実施する場として、「里山ふるさと館」や「体験工房」などの施設を提供しています。

(3) 自然にふれあえる場の提供

「芝生広場」や「自然観察歩道」など、利用者が気軽に自然観察やハイキングなどの野外活動を楽しめる場を提供しています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・夕日寺健民自然園は、本園を利用する活動団体や県民サービス向上を図るため、指定管理者制度を平成27年度から導入しています。
- ・施設利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、物品の維持管理及び修繕に関する業務等は指定管理者が行い、中期経営目標の実施期間である平成30年度から平成34年度までは、「公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況等の管理状況について、

指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行う等、適正な管理・運営に努めます。

- ・ 県は指定管理者と協議し、老朽化した施設の修繕等を実施していきます。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・ 同園では「いしかわ自然学校」の拠点となるなど、多彩な里山体験プログラムが開催されており、年間利用者数は、平成23年度以降は毎年4万人を超えています。今後とも、いしかわ自然学校の事務局でもある指定管理者のこれまで蓄積してきたノウハウ、活動団体とのネットワーク等を活かし、広報活動の強化及び里山体験プログラムの充実を図ることで、里山利用者の裾野拡大に努めます。
- ・ 活動団体間での活動状況報告・連絡調整の場の設定や利用者アンケートの実施を行っています。今後とも、引き続き活動団体や利用者の意見を踏まえたサービスの向上に努めます。

(3) 施設運営の効率化について

- ・ 一定区域については、里山保全・再生活動を自主的に行う3団体と夕日寺里山保全再生協定(無償)を結んで、草刈り等の管理をしています。今後も、協定等による自主的な管理を拡大し、施設運営の効率化を図ります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を5年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度において、利用者サービスは、引き続き95%以上を維持し、施設の維持・管理は95%以上を目指します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H26~28平均)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
① 利用者数		45,850人	47,000人	48,000人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	98.8%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	93.6%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・いしかわ自然学校事業と一体となった広報活動等を実施し、利用者の裾野拡大に努めます。
- ・いしかわ自然学校インストラクタースクールの会場として利用するなど、いしかわ自然学校プログラムとの連携を図り、利用促進に努めます。
- ・地元町会や小学校等への働きかけにより、更なる利用者の裾野拡大に努めます。
- ・ガイドウォークやクラフト教室等の里山体験プログラムを開催し、サービス向上に努めます。
- ・利用者アンケートを実施し、満足度や改善点を把握することで、より利用者に満足していただけるように努めます。
- ・自然園で活動する団体から成る「夕日寺活動団体連絡協議会」を定期的で開催し、活動団体が互いに連携を深め、情報交流できる場を設定するとともに、現状把握や調整に努め、サービスの向上を図ります。
- ・里山保全活動協定締結団体との連携・協働により、園内の敷地を利用した里山保全活動を促進します。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・常駐職員による日常管理業務のほか、園路や歩道の草刈、軽微な維持補修、施設清掃等は、現地の地理に明るく、また、里山の自然に関する専門的な知識及び経験豊

富な人材が多い里山活動団体や地元町会等に管理委託します。

- ・自然園での活動団体等との良好な関係の構築に努め、連携・協働による管理運営の推進を図っていきます。
- ・様々な活動団体等との連携・協働の推進に努め、協定等による自主的な管理の拡大に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況) (単位:人)

項目	H26	H27	H28
利用者数	43,528人	46,268人	47,755人

(2)利用者アンケート指標

(利用者サービス) (単位:%)

項目	H26	H27	H28
良い	55.8%	60.9%	66.7%
概ね良い	44.2%	36.5%	32.3%
計	100.0%	97.4%	99.0%
やや悪い	0.0%	1.3%	0.0%
悪い	0.0%	1.3%	1.0%

(施設の維持管理)

(単位:%)

項目	H26	H27	H28
良い	51.2%	57.7%	55.9%
概ね良い	43.9%	36.5%	35.5%
計	95.1%	94.2%	91.4%
やや悪い	4.9%	5.1%	3.2%
悪い	0.0%	0.7%	5.4%